



SISTERS

～隠された記憶～

ACT.4 AKIKO

成年
同人誌

for ADULT ONLY

SISTERS

～ 隠された記憶 ～

ACT.4 AKIKO

SISTERS

～ 懐きぬる記憶～

ACT.4 AKIKO



あの一夜限りの
過ちのあと
私は興奮しきった身体を
なんとか鎮めようと
一人シャワーを浴びていた

秋子さん

あの…

んふ

…どうしたの
まだ…眠れないの？

あら…

どうしたの
いきなり入ってきて…

あ…

んふ

いけないことだと知りつつも
彼の力強く勃起した
ペニスを見た瞬間に
自分の身体が条件反射的に
彼を求めて
火照っていくのを感じていた

どうしたの？

私はあの時…

アス

さつきあんなに
たくさんエッチしたのに

まだし足りないの？

あらあら

あ…秋子さん

キミの…

どんどん大きく
なっていくね…

素直に

帰るべきだったのだ…



やんっ……!

駄目よ
そんなに強く

乱暴にしちや
ダメっ……

やさしくしないと
……ほら

ミルク溢れて
きちゃう……んっ……



す……すいません

もう……

やんちゃな
おちんちんね……

おちんちんも

だんだん
硬くなってきたよ……

湿しくて……

太くて長くて
ピンピンに勃起してる……

すこい……ガチガチ

……っはあ

ん……

んふ……かわいい乳首
ツンツン勃起してる

はっ……

はっ……

んんん

ぬちゅ

ぬちゅ

んんん

ぬちゅ

彼の勃起した
ペニスの前に
私の理性は
あっけなく崩壊した

ん…

ッ

ッ

んふ…むぐ…

すこいね…キミの
おちんちん袋…

ん…

む

む

ちゅっ

ふ…

パンパンに膨らんで…

さっきあんなに私のおまんこ
中に射精したのに…

んふ

ん…

はち切れそう…

むぐ…まだこんなに…キミの精液…
袋の中で外に射精たがってる…

フル
フル

ふー

はむ…キミの玉袋…
んむ…なんだかとても
苦しそう…んぐ…む…

ふー

ふ…

ん…

一度火がついて
しまったこの身体は
目の前のペニスを
欲する事だけを
望んでいた



出
出

っはあ

ん

んふ

こんなにピンピンに
大きくなって...

キミのおちんちん...
持ちきれない感じね...

は

は

んふっ...キミの...
すごく硬くて熱いわ...
んふ...素敵よ...

はー

はー

ふあ...
裏筋も紙めてあげる

ん

ん

んふ...

ふあ...いっぱいいっぱい
気持ち良くなってね...んっ

ふー

あ...あ...
秋子さんの舌が...
すごく気持ち良くて...

はー

ふー

ん

ふー

ふー

んむっ...んっ...
キミの...すごく
熱い...んんっ

ふー

いいわ...
ごうちに来て...
いっぱい紙め紙め
してあげる...んんっ...

ん

あっ...あっ

秋子さんっ...!

んんっ...んんっ...
んんっ...んんっ...
ちゅっ...ちゅっ...
ちゅっ...ちゅっ...
ちゅっ...ちゅっ...

んんっ...
んんっ...
んんっ...
んんっ...

ん

ん

ペニスの大きさも
長さも硬さも暖かさも
舐めた舌の上の感触
さえもがあの人のモノに
良く似ているの…

秋子さんの口の中…

舌がねっとり絡みついて…
すこく気持ちいいです…

秋子さんっ…!

ふじゅっ…むぐっ…んっ

気持ちよさそうにしてる
キミの顔…かわいい…
んふ…むふ…ふちゅ…んっ

んっ…

んっ…

んふっ…

むふっ…

ふー

ふー

んっ…

んんっ…

んふっ…すこいわ…

キミのおちんちん…ピクンピクン
脈打って…すこく…元気よ…
んふっ…んく…んっ…んっ…

ふー

んふ…うれし…

じゃあ私の口の中…いっぱい
楽しんでね…ん…んふっ…

ふー

んふっんふっ

んっ…

んっ…んっ…んっ…
ちゅっ…ふちゅっ…

なにより彼のペニスの
ニオイが忘れようのない
あのひとの肉体の記憶を
否応にも呼び覚まして
私を虜にしよう



んんっ……!

ごめんなさい!
ごめんなさい!

秋子さんっ……
ごめんなさいっ……!

んっ

おほっ……

おほっ……

んっ

ドクッ

おっ……

んっ

んっ

おほほっ……!
おほほっ……おほほっ……
おほほっ……おほほっ……

苦し……の……

びゅるるる!



っほあ……!

かはっ……ふはあっ……
がほっ……こはっ……つはあ
はあっ……はあっ……はあっ……!

ふああ

ふあー

はー

はー

あー

ふああ……

すごい量……!

ああっ……
秋子さんっ……

飲みきれないっ……!

びゅるるる!

びゅるるる!

んあー

はあ……

射精してえ……秋子のお顔
……キミのおちんちんミルクで
ベストベストにしてえ……!

んっ

べちっ

ふああ

にちっ

お口の中も……

キミのおちんちんミルク
おいしい……ああ……素敵……
……このニオイ……好き……

んっ
んっ

はあっ…はあっ…

困ったわね…おちんちん…
ちっとも小さくならないわね…

はー

ちゅ

ハッ

ピチャ

ぷるぷる

はー

はー

ああ…秋子さん

やつぱり…というか
当然というか…
すこく似ているの
あの人に…忘れられない
あの温もりに…

あ…

ん…さっきベッドで
中出しされた精液…

何回も中出しされた精液が…
おまんこから溢れてきて…んっ
んっ…はあっ…はあっ…ふあっ…

ふう

ん…

ヌルヌルしてる…

立派なおちんちん…

精液まみれのおちんちん…
秋子が全部舐めとって綺麗にして
あげる…んふ…んじゅ…じゅ…

ん…

ん…

ふ…

秋子のおまんこ…
またキミの精液…
欲しがつてる…ん…

はあ

くちゅ

くちゅ

キョッ

…もう
止まらなかった

ね…

けいちゃん…

ふ…

いいのよ…

ん…

秋子のおまんこ…
めちやくちやにして…

迷うことも躊躇する
こともなく私は
ただ目の前の肉体を
欲していた

あぁっ…

はっ

あ

んあ

がく
がく

いいっ…
いいわっ…!

んっ

がく

はっ

がく

すごくいいっ…!
奥まで届いて…んんっ

そうっ…そうよっ…我慢しなくて
いいのよ…もっと激しく吸みたい
に…っばい腰を動かしてっ…
んっ…そう…いいわっ…

んああ

あっ…

んんっ…おっぱ
ち…乳首にそんなに
吸い付くなんて…
やんっ…んんっ…

んんっ

んん
んん

あっ…いや…

あっ

駄目よ…
ミルク…溢れて
きちゃう…んんっ…

んん

あっ…あぁっ…
気持ち…いい…

んふっ…けいちゃん…赤ちゃん
みたい…そんなにおっぱいむしやぶり
ついて…んん…いいわ…もっど…
もっど吸って…ちゅうちゅうしてえ

んああ

ぬほ

ぐほ

すほ

ずほ

ぐほ

ぢゅほ

今度は私が気持ちよくしてあげる…んっ…ああっ…

ど…どう…？
奥まで…届いてるでしょ…
んっ…んんっ…はあっ…ああっ

はあっ

んあ

かあ

おまんこの…

んっ

んっ

おまんこの奥までおちんちん届いてるっ…け…けいちゃんのおちんちん…んんっ…はああっ…き…気持ちいいっ…おっ…はあ

びゅるるっ

あっあっ

かっかっ

だまん

だまん

かっかっ

ふああ

か…

びゅっ

はっく

いやあ…けいちゃんが…吸い付きすぎるから…動くたびに…み…ミルクが溢れてきちゃうっ…

っはあ

おちんちんまでおまんこスポスポする度に…おっぱいミルクがピュッピュッっていっぱい溢れ出してくるのおおっ…！

んああ

ほっ

くほ

あはっあはっ
あはっあはっ
あはっあはっ
あはっあはっ

んっ…

いまは溺れていたたい……

いっ！

ああ……いいわ……
気持ちいい……

ずっと忘れていたのに……忘れた
つもりだったのに……んんっ……
もうダメ……んっ……もう一生
忘れられないわ……んっ……あんっ……

ああ……いい……
もっと……もっと……

はあ

んあっ

あっ

はっ

ぐほっ
ぢゅほっ

ごっ

ぐほ



っほ

ぢゅほ

ぢゅほっ
ぢゅほっ
ぢゅほっ

もっと

もっとあ……

もっと挿入れてっ……！
もっと激しくしてっ……！
もっと激しく抱いてっ……！

せめていまだけは……

はあ

きもち……
気持ちいいっ……！

はあ

ふあっ

加

おかしくさせてっ…

今夜の事…一生忘れられないくらい
…もっと気持ち良くっ…秋子のこと
…もっとおかしくさせてっ…!

はあ

んあ

はあっ

ニ…

今夜だけ…
特別よ…んっ…ふっ…
こんなこと…本当は
いけないことなのよ…

んっ

加く

びゅ

びゅ
びゅるる!

はっ

んっ

ちっ

はっ

んっ…

はあっ…はあっ…
で…でも今夜…んんっ…
今夜だけよ…んっ…

んん…

いっ…

だけど…

だからこそ…
いっぱい愛して…!

何も考えずに…

ただひたすらに
この快楽に溺れていた…

加く
加く

加く

いまは溺れていたい...

いっっ...

ああっ...いいわ...
気持ちいい...

ずっと忘れていたのに...忘れた
つもりだったのに...んんっ...
もうダメ...んっ...もう一生
忘れられないわ...んっ...あんっ...

ああ...いい...
もっと...もっと...

はあ

はあ

んあ

おかしくさせて...

今夜の事...一生忘れられないくらい
...もっと気持ち良くて...秋子のこと
...もっとおかしくさせて...

はっ

んっ

はあっ

ちっ

はっ

んっ...

はあっ...はあっ...
で...でも今夜...んんっ...
今夜だけよ...んっ...

んん...

いっ...

だけど...

だからこそ...
いっばい愛して...!

何も考えずに...

ただひたすらに
この快楽に溺れていたい...

今夜だけ...
特別よ...んっ...ふっ...
こんなこと...本当は
いけないことなのよ...

んんっ

加く

びゅっ
びゅるるる!

ぐほっ
ぢゅほっ

ぢゅぢゅ
ぢゅぢゅ

きもち...

気持ちいいっ...

はあ

はあ

もっとあ...

もっと挿入れてっ...!
もっと激しくしてっ...!
もっと激しく抱いてっ...!

もっと

せめていまだけは...

ふあっ

加く

加く

加く

ああっ…いいい!

いいわっ…素敵…もつと突いてっ…!もつとおまんこメチャクチャにしてえ!

おまんこ
溶けちゃう…

けいちゃんのおちんぼ熱で
秋子のおまんこ下口下に
とろけちゃう…!

あっ…かはっ…

…ダメっ…もうダメっ…

おかしくなるっ…秋子…頭が
どうにかなっちやいそうよ…気持ち
良すぎて…頭がおかしくなるっ…

精液ちょうだい…

秋子の膣と外に泡立ってぬるぬるの
けいちゃん濃く旨ザーメンミルク
秋子にいっぱい飲ませてええっ…!

加く

んああ

はあ

びる

はあっ

はっ

やっ

ふあ

いやっ

はあ

びゅ

はあ

加く

加く

加く

加く

うあっ

加く

加く

加く

ぢゅぽ

ぢゅぽ

ぐぽ

ほ

ぬぽ

ぢゅぽ

ふああ

おああ

加く



お口にも
ちようだいっ…

良輔のザーメンミルクっ…!!
秋子のお口にいっぱい
射精してっ…飲ませて…!!

ああ…

はあっ

はあっ

はあっ

良輔さん…

はあ

はあ

ああ…
秋子…さん

すごくエッチな
顔してるよ…

んあ—

は—

は—

ああ…あったかい

はあ

いっぱい射精してえ…

はあ

秋子の身体…良輔の臭いで
いっぱいにしてえ…たくさん
染み込ませてえ…ああ…

良輔さんと同じ臭い…

ああ…幸せ…

はあ

ふああ

射精してえ

身体中良輔の
ザーメン汁で
ヌルヌルにしてえ…

はあ

はあ

ッッ

ッッ

ッッ

んあ

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

1989年

初夏

私は過ちを犯した。
たった二つの過ちを。



…一度目の過ちのあと
私はすぐにあの家を出るべきだったのだ。

そうすれば
「彼」に出会う事もなかったはずなのに…。



けいちゃん…

しかし
私は帰らなかった
理屈ではない
自然に身体が
それを拒んでいた

忘れて
しまう前に…

まだ足りない…

秋子の全部…

けいちゃんにあげる…

せつかく出会えた
亡き夫の面影を前に
私は時間が許す限り
その温もりを肌で
感じていたいと望んでいた

To Be Continued

あとがき。

お久しぶりです。滝美梨香です。

…いよいよママを描く事と相成りました。
が、やはりこの人は僕には難しいです。
絵的にも性格的にも。
特にママキャラがダメというわけでもな
く…なんでしょう。とにかくこの人を
撮るのは僕にはすこくしんどいです。

なんでしょうw 2014/12/19

奥付

■SISTERS～隠された記憶～
ACT.4 AKKO

■発行:マキノ事務所

■著者:滝美梨香

■発行日:2014年12月30日

■印刷:デジタルパワーステーションさま

禁・無断転載

ADULT ONLY

<http://makinojmusho.blog54.fc2.com/>